



「東陽まちなみづくり協議会」情報

令和2年度 東陽まちなみづくり協議会予算

(歳入) (単位：円)

区分	予算	内訳
八代市地域協議会活動交付金	1,672,000	一括交付金
まちなみづくり活動活性化補助金	300,000	
会費負担金(体育振興負担金)	1,030,500	687世帯×1,500円
市委託費	140,000	施設管理委託
地域協議会自主財源	1,000	
繰越金	396,574	事業費繰越金
地域振興寄付金	200,000	地域振興、教育振興寄付金
雑収入	665,926	香典返し寄付、預金利子等
合計	4,406,000	

(歳出)

区分	予算	内訳
社会教育費	75,000	文化の祭典
体育振興費	1,271,500	校区民体育祭等
福祉健康費	552,000	敬老会事業費等
青少年育成・人権啓発費	1,000	
環境費	860,000	資源回収集積所管理
交通安全対策費	1,000	
防犯・防災費	1,000	
まちなみづくり活動費	400,000	さくら祭り等
地域振興補助金	100,000	教育振興費
委託費	130,000	旧河俣小・内ノ木場分校管理費
事業活動調整費	311,000	清水堂改修工事他
小計	3,702,500	
人件費	420,000	役員報酬
旅費	100,000	役員研修費他
交際費	20,000	慶弔費他
会議費	20,000	会議負担金
役務費	40,000	切手代、振込手数料
印刷費	10,000	総会資料印刷代等
消耗品費	20,000	文具代、コピー用紙代等
備品購入費	30,000	
使用料	10,000	会場使用料
組織運営調整費	33,500	
小計	703,500	
合計	4,406,000	

書面議決の結果について

本年度の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点により、書面での議決とし、令和2年5月18日必着で、評議員81名中71名の方に書面表決書をご提出いただきました。

その結果、すべての議案について過半数の賛成をもって可決されました。

また、今年度は役員改選があり、会長の白石善吾さんがご退任されました。

白石前会長におかれましては、発足より8年間という長きにわたり、東陽町のために貢献していただき誠にありがとうございました。後任には後村新一さん(鶴)が、副会長には橋永高德さん(坂より上)が選任されました。その他の役員は下表のとおりです。

今年度も協議会一丸となって頑張りますので、町民の皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度 東陽まちなみづくり協議会役員

※今年度新役員

役職	氏名
※会長	後村 新一
※副会長	橋永 高德
副会長	岩本美重子
事務局長	上村 克弘
会計・書記	中野 敏憲
事務員	奥村 美穂 盛田加良子
※監事	上原 昭郎 吉崎 輝雄
広報人権委員長	太江田久子
※生活環境部会長	本島 克介
※福祉健康部会長	岩山 明洋
スポーツ文化部会長	徳田 秀男
地域おこし部会長	奥田 勲
※放課後児童クラブ運営部会長	平木 恵子
山村部会長	黒木 信夫

会長就任あいさつ



この度の東陽まちなみづくり協議会総会(文書決議)において推挙と賛同を賜り、会長の要職を拝命致しました。

もとより微力ではございますが、役員・職員の協力と支援を頂き、本協議会の円滑な運営、活動を通して東陽町の活性化・発展に向けて努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

本会は、白石善吾前会長の下で、これまで様々な事業への取り組みにより、町民の皆様への認知度も高まってまいりました。白石前会長のご功績に衷心より敬意を表するところでございます。

本町も高齢化、少子化の進行や核家族化も見られ、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。

また本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、いろんな活動が制約されていますが、役員一丸となり、なおい層東陽町の活性化に努めてまいります。皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げまして、会長就任にあたってのご挨拶とします。

東陽まちなみづくり協議会 会長 後村 新一



三東 役陽・まちなみ事務局・みなさん・職員協議会の会



福祉健康部会長 岩山 明洋さん



生活環境部会長 本島 克介さん



放課後児童クラブ運営部会長：平木 恵子さん

